



T・Hさん

社会福祉法人 光輝会 隆光学園

〒572-0855 大阪府寝屋川市寝屋南2丁目15番1号

TEL 072-822-0123

HP <http://www.koukikai.or.jp/>

Email nryukou@silver.ocn.ne.jp

Writer 奥野・上原・川北・福井・村橋

責任者 伊藤 正寿

1月号 かわらばん 第257号

あけましておめでとうございます 本年もよろしくお祈り申し上げます。平成29年が始まりました。酉年とあり、皆様にとって大きく飛躍できる年でありますようお祈り申し上げます。

今月号の題字は正月らしく「鏡もち」に貼り絵をして頂きました。最近、余暇活動で貼り絵を頑張っているTさん。たくさんの作品を創り出されています。今後のかわらばんで紹介していきます。 かわらばん係

新年書き初め ~書道クラブ

もうすぐお正月、いい年に...

12月に行われた書道クラブで「新年の書き初め」が行われました。学園玄関に飾られ、新年を迎える準備ができました。



初詣 ~成田不動尊へ

お正月といえば、初詣に行かれる方も多いかと思えます。園生の皆さんも順番にお参りにされました。近くの寝屋神社に行かれた方、成田山まで足を延ばされた方もいらっしゃいます。皆さん各々に今年1年間良い年になるようにとお参りをされました。写真は1月3日に成田山へ行かれた方の様子です。お参りの後は、おみくじを引かれました。出店も出ていたのでカステラを購入して皆で頂きました。とても嬉しそうな表情で、お正月気分を味わって頂けたようです。 支援員：平木



新年レクリエーション

1月4日、2017年初レクリエーションを行いました。年の瀬に施設内で胃腸炎が流行し、感染防止の為、年が明けても集まっての日課を見合わせていました。この日やっとみんな顔を合わせることが出来、笑顔で大声で新年の挨拶をした後、お正月の歌を歌いました。そこでお正月ならではの「おみくじゲーム」を行い、参加されたみなさんは「特大吉」や「超大吉」といった良いクジを次々と引く一方、職員は二人連続で「凶」を引いたり、「金運下がる」など散々でした(笑)。その後、音楽に合わせてリズムをとったり、踊ったり、ボール・フリスビー・ジャンボ風船でパス回しゲームをして楽しみました。あっという間の75分でした。

「皆さん、今年も笑顔でよろしくお祈りします。」

支援員：田原

水曜日の日課について

今年度より水曜日は訪問歯科が始まり、通常の活動班での活動はなく、午前中がレクリエーション、午後からは訪問歯科を主に日課を組んでいます。今回は主にレクリエーションの中身の充実について話し合いをしました。現在取り組んでいるレクリエーションは主に音楽活動やDVD鑑賞などですが、音楽活動内容においてもただ単に音楽を流して歌うだけなのか？楽器などを使用して広げていけないか？という具体的な物です。現在の様子は音楽が流れると踊り出す方、歌う方と様々ですので、まずは皆で一つの形をみつけていけたらと考えています。合奏とまではいきませんが、タンバリンなどの簡単な楽器を使った合奏ごっこを中心に始めていこうと取り組んでいます。もちろん、音楽以外にも企画は検討中で、リハビリなども兼ねた運動遊びなども今後展開させていければと考えています。まだまだ課題が多いレクリエーションですが、一つ一つ課題をクリアして皆さんがより楽しめる内容を提供していければと思います。 支援員：猪子

保健係りより

昨年行った冬の健康診断の結果をもとに、利用者の方の現状について話し合いを行いました。健康診断の結果を踏まえて感じたことは、『高脂血症』と診断された方が増えていることです。また、貧血や肝機能に問題がある方など気になる方もおられます。

今回の会議で話し合ったことは、係りだけではなく、各職員も利用者の方も現状を把握してもらうためにデータ化すること、そのデータをもとに日中活動と生活場面の見直しと、給食のあり方について再検討する必要性を感じていることです。

支援員：吉村

1月24日(火)近畿地区知的障害者施設協会の研修会を受講してきました。グループホームで暮らす利用者や事業所を取り巻く状況は「改正障害者総合支援法」によって目まぐるしく変化し、永く将来に渡って楽観的に過ごすことはできない状況との事。

「重度化・高齢化」への対応など利用者の暮らしを支えていくために必要な仕組みとなる「地域生活支援拠点事業」に期待を持ちながら、今後、グループホームに求められる機能や役割を考えていかなければならないと実感しました。

らいふさばーと支援員：奥

「職員のためのアンガーマネジメント」～怒りのコントロール～

今回の研修では、怒りの感情とうまく付き合う為の心理トレーニングについて学びました。

トレーニング方法には、ストップシンキング・カウントバック・呼吸リラクゼーションタイムアウト又、スケールテクニック・アンガージュナルなどが有ります。自分に合った方法を見つけ、トレーニングすることで心の許容範囲を広げていくための研修です。

それを実践することで、職員一人一人が気持ちよく働ける気持ちを保つことが出来、それが利用者さんへの心ある正しい支援に繋がると確信しました。 支援員：藪野

乳がん検診
1月24日、寝屋川市保健福祉センターへ乳がんの集団検診を受けに行きました。今年度も10名の利用者さんが対象で、触診とエコー検査を実施しました。皆さん、無事に受けられることが出来ましたが、高齢化とともに集団で受けに行くことが段々難しくなってきました。どのような形で検診を受けていくのかも今後の課題になりそうです。結果は後日郵送させていただきますので、またご連絡させていただきます。 支援員：亀谷